

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・2001年よりISO14001を認証取得			3.9			6	7					12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・HPにて環境方針を掲示し開示している												12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・2014年より太陽光発電を導入している							7.2							13					
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	生産効率向上の取組みとして歩留まり改善に取り組んでいる。また、生産段階で発生したスクラップは、グループ企業で100%再生材として活用している。												12.2	13	14	15				
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	アイシングループ企業行動憲章、行動指針で汚職・贈収賄禁止に対する行動規範を整備、周知すると共にHPに腐敗防止方針を掲示し、浸透を行っている																	16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	アイシングループ企業行動憲章、行動指針で不正競争防止に対する行動規範を整備、周知すると共にHPに独占禁止法遵守方針を掲示し、浸透を行っている																		16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	特許、商標等知的財産権の取得、管理をしている								8.2	8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・個人情報保護規程を制定し、規程に基づいた管理をしている ・社内研修を行い情報管理ルールの周知徹底している																			16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	1回/年、紛争鉱物に関する調査を対象調達先に対して実施し、報告書の提出をして頂いている																			16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	1回/年、調達先の皆様とコンプライアンスを始め重要課題に対する認識を共有する為の会合を持ち、周知を図っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17		
28		製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	デザインレビューを実施し、設計上の安全を担保している。			3.9										12.4					
29	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している		基本	ISO9001/IATF16949で品質保証システムを確立し、それに基づいた品質保証体系を運用している。										9									
30	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる		チャレンジ	燃費の改善を通じてCO2削減に貢献する事を重要なテーマとして取り組んでいる。						6						12	13	14	15				
31	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		チャレンジ	【予定】電動化部品のなどの量産拡大に取り組む	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
32	地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域雇用への貢献、納税の義務、環境保全活動への積極的な貢献、近隣小学校社会科工場見学の受け入れ等を実施している				4					9		11	12		14	15		17			
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・スペシャルオリンピックス日本長野への寄付 ・地域小学校への環境学習プログラムの実施 ・交通安全意識向上の為に交通安全立哨活動の実施				4							11				14	15		17		
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	生産段階で発生したスクラップは、グループ企業で100%再生材として活用している。									8	9		11	12	13						
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	職制を通じたミーティングでの周知、職場への掲示、社内報での広報を実施している									8	9									17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	コンプライアンス委員会の設置、ケスタティを用いた職場単位の教育、社内報による広報を実施している																			16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	経営管理部総務室に社内のSDGs推進責任者を置き、2回/年のマネジメントレビューで進捗を確認する体制を整備している。																				16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	営業担当が得意先から取り寄せるスコア(評価)を関係部署で共有・分析し、改善に取り組んでいる。																			16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	社長をトップとした危機管理委員会を設置し、重点リスクの抽出、各部署への改善活動の織り込み、方針管理でフォロー、の仕組みを整備している																				16
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	経営目標に「環境経営の実現」を掲げ、事業活動を通じた社会課題の解決に取り組んでいる																				16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	BCPマニュアルを整備して適切な初動対応が取れるようにする事で、事故や災害発生時の影響を極小化する取り組みを実施している。											9		11		13 13.1				16	
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	事業戦略を担当する部署として経営企画部を設置し、既存事業の競争力強化と新規事業の開発の両面から中期経営計画を作成、推進している。										8	9									17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)